

# 令和4年度日本股関節研究振興財団 股関節国内研修報告書

東京都健康長寿医療センター

金子 泰三

仙台赤十字病院

栗島 宏明

令和4年度日本股関節研究振興財団の国内研修助成に選出して頂き、令和5年1月30日から2月3日まで九州、関西地方の4施設で研修させて頂きました。

## 佐賀大学医学部附属病院

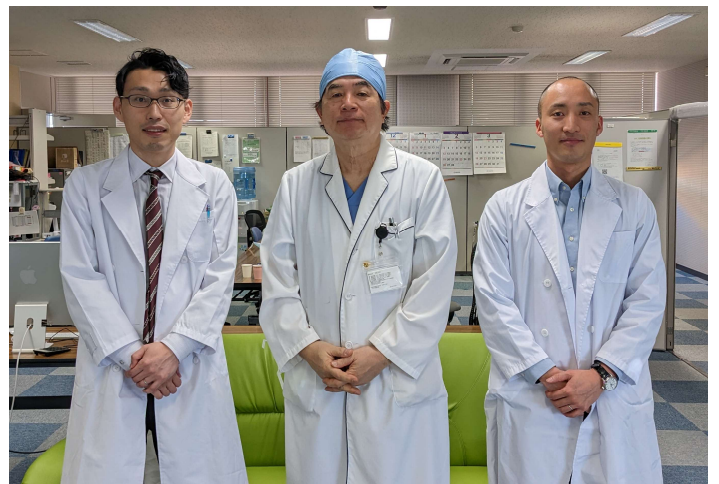
最初の2日間は佐賀大学医学部附属病院にて研修させて頂きました。病棟カンファレンス、病棟回診への参加、股関節専門外来見学、手術見学、VR技術を用いたインプラント設置シミュレーション体験など多くのことを経験させて頂きました。

股関節専門外来では、全てのブースを馬渡先生が回診されており、術後患者さんの歩容の確認および日常生活指導などをされておりました。患者さん、ご家族の安心した表情が非常に印象的でした。

また教育的ツールとしてVR技術を使用した3次元的な術前シミュレーションを導入されており、体験させて頂きました。あらゆる角度から3次元的に骨盤形態の確認やインプラント設置位置の調整ができ、時間を忘れて没頭してしまいました。

手術はTHAおよびTAOを見学させて頂きました。THAは後方アプローチ、銀コーティングされた抗菌インプラントを使用されていました。術場には必要最低限の手術器具のみ準備されており、手術手技だけでなく術場にも一切の無駄がなく、洗練されている印象を受けました。後方組織の修復も解剖学的な位置に適切に再建されており、非常に勉強になり

ました。TAOは、大転子骨切りにて良好な視野を確保されており、骨切り位置は助手からも正確に把握することが可能でした。骨盤周囲の解剖を熟知することで術中透視を使用することなく迅速かつ正確な骨切りが達成されており、改めて骨形態ならびに解剖の習熟の重要性を再確認しました。

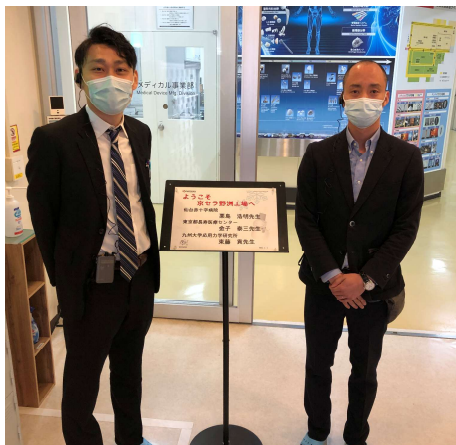


佐賀大学医学部附属病院にて

## 京セラ野洲工場

3日目は滋賀県にある京セラ野洲工場を見学させて頂きました。工場見学では人工股関節インプラントをはじめ、様々な医療用インプラントの製造過程、耐久性や品質確認などの様子を見学しました。普段自分が使用しているインプラントが徹底した品質管理のもと、手元に届いているのだと実感しました。午後からは九州大学応用力学研究所の東藤先生に有限要素解析の基礎から、その応用としての動的有限要素法によるインプラント

解析モデルについてご教授頂きました。普段学ぶ機会の少ない分野であり、非常に勉強になりました。



京セラ野洲工場にて

### 京都府立医科大学附属病院

4 日目は京都府立医科大学附属病院にて研修させて頂き、SPO を見学させて頂きました。石田先生から術前にスライドと模型を用いて SPO の概念、術式を講義して頂きました。わずか 7cm 程度の小皮切で股関節前方から進入展開し、術中透視を使用して内板を残す骨切り術を見学させて頂きました。術前の骨切り部位および深度の入念なシミュレーション、解剖学の熟知をすることで術中透視は必要最小限の使用に留められており、改めて術前計画の重要性、解剖学習熟の必要性を認識致しました。なお、石田先生は術野カメラ、ライトなどをご自身で作成されており、また伸縮包帯などを結界のように張り巡らせることでレトラクターを保持する工夫などをされており、感銘を受けました。



京都府立医科大学附属病院にて

### 大阪医科薬科大学病院

最終日は大阪医科薬科大学にて研修させて頂き、セメント THA を見学させて頂きました。近年はセメントレス THA が主流かと思いますが、大阪医科薬科大学では全ての症例でセメント THA を行われており、ドール変法による前外側アプローチで行われておりました。当たり前ではありますがセメントの扱いが非常に洗練されており、粘度を適宜確認しながら最適な状態でセメンティングを行う技術を実際に見ることができ、非常に有意義でした。セメント使用時などは往々にして術野全体に緊張感が走るものですが、適度な緊張感の中にウィットに富んだ会話を挟んでくる岡本先生達からセメントユーザーの矜持を感じました。



大阪医科薬科大学病院にて

## 謝辞

5 日間の国内研修は股関節外科医として、多くの刺激を受けることができ、非常に有意義な経験をさせて頂きました。今回このような貴重な機会を頂きましたこと、この場を借りて深く御礼を申し上げます。

日本股関節研究振興財団 別府諸兄先生

佐賀大学医学部附属病院 馬渡正明先生

河野俊介先生

京セラ株式会社野洲工場 関係者各位様

九州大学応用力学研究所 東藤貢先生

京都府立医科大学附属病院 石田雅史先生